

# 解剖学：リンパ管

40-014 リンパ系について誤っているのはどれか。

- 腸管由来のリンパ液を乳糜という。腸からのリンパ液は、脂質を含み乳白色をしており乳糜という。
- リンパ節は細網組織からなる。リンパ節、骨髄、扁桃、脾臓などは食細胞を含む細網組織である。
- 胸管は右側の静脈角に合流する。左。\*右リンパ本幹が右側の静脈角に流入する。
- 脾臓はリンパ系器官の一つである。
- リンパ管に弁機構が存在する。

43-015 正しいのはどれか。2つ選べ。

- リンパ節には皮質と髄質とがある。
- リンパ管には弁がほとんどない。多数ある。
- 胸管は乳び槽から起こる。
- 胸管は右鎖骨下静脈に入る。左
- 右腰リンパ本幹は右リンパ本幹に入る。

45-P-057 正しいのはどれか。2つ選べ。

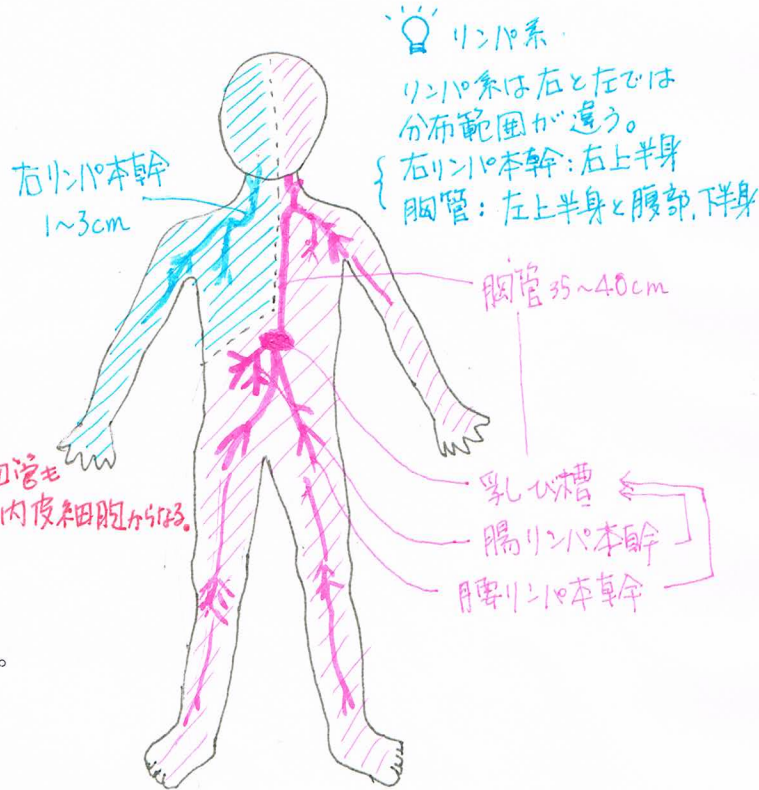
- リンパ管には弁機構が存在しない。ある。
- 毛細リンパ管は単層の内皮細胞からなる。
- 胸管は右側の静脈角に合流する。左 → 毛細血管も単層の内皮細胞からなる。
- 右腰リンパ本幹は右リンパ本幹に入る。
- 脾臓はリンパ性器官の1つである。

46-A-057 リンパの流れについて正しいのはどれか。

- 腸リンパ本幹は右リンパ本幹に注ぐ。胸管
- 乳び槽は頭部のリンパを集める。腹部と腰部
- 胸管は左鎖骨下静脈に注ぐ。右リンパ本幹
- 右上肢のリンパは胸管に注ぐ。右リンパ本幹
- 右下肢のリンパは右リンパ本幹に注ぐ。胸管

48-A-58 リンパの流れについて誤っているのはどれか。

- 乳び槽は腸リンパ本幹と腰リンパ本幹が合流してできる。
- 右リンパ本幹のリンパは右静脈角から静脈に流入する。
- 右上肢からのリンパは右頭部からのリンパと合流する。
- 右下肢からのリンパは右リンパ本幹に流入する。胸管
- 胸管のリンパは左静脈角から静脈に流入する。



## リンパ系の役割

毛細血管(静脈側)から組織内へ浸出した体液(リンパ)の一部を吸い上げ、リンパ管の途中にあるリンパ節で濾過し、静脈へ戻す。

右リンパ本幹 → 右静脈角  
胸管 → 左静脈角  
\*静脈角は、内頸静脈と鎖骨下静脈の合流部

## リンパ系

○ 毛細リンパ管 → リンパ管 → リンパ節 → リンパ本幹

○ リンパ性器官

- 脾臓
- 胸腺
- 扁桃 (咽頭にある)
- パイル板 (回腸にある)